

## 沢津丸の宝塔



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	そうづまるのほうとう
所在地	笠岡市真鍋島
指定年月日	昭和51年3月27日
解説	笠岡諸島の真鍋島西端の丘上にある宝塔。角礫質凝灰岩製(豊島石[てしまいし])で、相輪の上半を欠損しているほかはほぼ残っている。塔身下半の内部に大きく内割[うちぐり]を取って空洞にし、正面外から納入孔をうがっている。全体に簡素であるが、塔形は優雅で美しい曲線を示す。無銘だが細部の手法等から平安時代末期～鎌倉時代初期の優秀作である。源平合戦のころの平家方の戦死者を弔うために造立されたと伝えられる。
アクセス方法	真鍋島港から片道徒歩約45分
公開状況	外観のみ
設備	
備考	